



PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会

関西・東海予選 亀山GC(結果) 予選大会結果のお知らせ

< PGM世界ジュニアゴルフ選手権日本代表選抜大会 関西・東海予選 >

◇3月11日◇三重・亀山GC (15-18歳男子6717ヤード、いずれもパー72ほかカテゴリー別)

◇出場299人◇晴れ◇

<関西・東海予選 概況>

15-18歳の部男子では、牛塚海斗(香川・香川西高2年)と湯原光(愛知・西成東部中2年)が2オーバー74で並び、18番からのカウントバックで牛塚がメダリストとなり、西日本決勝大会(3月31日~4月1日、兵庫・大宝塚GC)に進んだ。同女子では秋田藍(大阪・蹊跼中3年)が78、前多愛(滋賀・青山中3年)が79で1、2位となり、高校生を抑えて上位で西日本決勝大会に進出。13-14歳の部男子では中川瑛太(岐阜・大野小6年)が80ながら中学生らを抑えてトップ通過を果たした。同女子は杉浦愛梨(愛知・高浜中2年)がただ1人70台の74で回り、2位に6打差をつけて1位となった

<関西・東海予選 予選結果>

西日本決勝大会進出者は以下の通り。*敬称略

▽15-18歳男子

- 【1位】牛塚海斗(香川・香川西高2年) = 74
- 【2位】湯原 光(愛知・西成東部中2年) = 74
- 【3位】又吉鷹丸(沖縄・真喜志中2年) = 76
- 【4位】中尾亮太(京都・同志社高2年) = 78
- 【5位】杉浦悠太(福井・福井工大付福井高1年) = 79
- 【6位】永守豪人(三重・桔梗が丘中2年) = 81
- 【7位】山内一輝(大阪・追手門学院大手前高2年) = 81
- 【8位】梅田恭生(福井・福井工大付福井高1年) = 81
- 【9位】高瀬龍馬(大阪・興国高2年) = 82
- 【10位】小木野太優(大阪・近畿大付高1年) = 82
- 【11位】大谷元気(京都・藤森中3年) = 85
- 【12位】麻田蒼空(石川・御幸中2年) = 85
- 【13位】沢田 新(石川・金沢学院高2年) = 85
- 【14位】池田優己(大阪・熊取北中3年) = 86
- 【15位】中川怜次(滋賀・びわ中3年) = 86
- 【16位】吉田慎之介(滋賀・立命館守山中3年) = 86
- 【17位】山岸咲槻(愛知・名古屋高1年) = 87



写真：15-18歳男子 牛塚海斗
©IJGA2018

▽15-18歳女子

- 【1位】秋田 藍 (大阪・蹠跽中3年) = 78
- 【2位】前多 愛 (滋賀・青山中3年) = 79
- 【3位】仲村果乃 (奈良・奈良育英高1年) = 79
- 【4位】江河 鈴 (大阪・松原第六中3年) = 80
- 【5位】上田莉奈 (福井・福井中3年) = 82
- 【6位】稲垣那奈子 (東京・共立女子第二高2年) = 83
- 【7位】大崎心美 (大阪・東海大仰星高1年) = 83
- 【8位】高木美空 (兵庫・神港学園高1年) = 84
- 【9位】小田 栞 (大阪・四天王寺中3年) = 85
- 【10位】川端涼香 (石川・星稜中3年) = 85
- 【11位】八木涼風 (大阪・箕面自由学園高1年) = 86
- 【12位】今野りお (北海道・札幌光星高2年) = 86



写真：15-18歳女子 秋田藍
©IJGA2018

▽13-14歳男子

- 【1位】中川瑛太 (岐阜・大野小6年) = 80
- 【2位】丘 尊伍 (大阪・豊中第十七中2年) = 81
- 【3位】新井龍紀 (愛知・西部中1年) = 82
- 【4位】下田航大 (愛知・楠中2年) = 83
- 【5位】丹羽悠太 (愛知・犬山東部中1年) = 84
- 【6位】小田祥平 (愛知・蒲郡中2年) = 84
- 【7位】角江勇稀 (滋賀・立命館守山中1年) = 84
- 【8位】広山功喜 (大阪・大池中1年) = 85
- 【9位】中川万龍 (岐阜・大野中2年) = 85
- 【10位】林 稜雅 (大阪・諏訪小6年) = 85
- 【11位】大塚悠生 (愛知・星城中1年) = 85
- 【12位】神田悠貴 (静岡・浜松日体中1年) = 85
- 【13位】竹内大悟 (京都・京都産業大付中2年) = 87
- 【14位】山田倅生 (愛知・名古屋中1年) = 87
- 【15位】東堤爽太郎 (京都・西城陽中1年) = 87

▽同女子

- 【1位】杉浦愛梨 (愛知・高浜中2年) = 74
- 【2位】佐沢愛々 (大阪・寝屋川第六中1年) = 80
- 【3位】藤井美羽 (愛知・千種台中1年) = 80
- 【4位】向井静玖 (大阪・東海大仰星高中等部1年) = 80
- 【5位】荻原いなほ (埼玉・本庄第一中2年) = 80
- 【6位】小木野陽鞠 (大阪・豊中第十四中1年) = 81
- 【7位】田中陽菜 (大阪・帝塚山学院泉ヶ丘中1年) = 81
- 【8位】田中珠蘭 (愛知・南山中1年) = 82
- 【9位】稲葉千乃 (三重・東員第二中1年) = 82
- 【10位】山下アミ (兵庫・上ヶ原中1年) = 84
- 【11位】與語優奈 (愛知・長久手奈中1年) = 84
- 【12位】林希莉奈 (愛知・鷹来中2年) = 84
- 【13位】堀川雪花 (静岡・豊田中1年) = 85
- 【14位】横山愛華 (愛知・瑞穂ヶ丘中2年) = 86



写真：13-14歳女子 杉浦愛梨
©IJGA2018

▽11-12歳男子

- 【1位】大海諒介（愛知・大野木小6年）=77
- 【2位】平松孝太郎（大阪・市岡小5年）=80
- 【3位】鳥居洸太（愛知・国府小5年）=84
- 【4位】進藤太雅（兵庫・西須磨小5年）=85
- 【5位】橋本拓英（三重・南が丘小5年）=86
- 【6位】小松大洋（滋賀・老蘇小5年）=87
- 【7位】山口大騎（愛知・北部小6年）=87
- 【8位】藤原遼生（三重・小野江小5年）=87
- 【9位】大久保麻波浪（東京・君田小5年）=88
- 【10位】上村大和（兵庫・宝塚小5年）=88
- 【11位】亀井幹大（大阪・吹田第三小5年）=88

▽同女子

- 【1位】小宮千鶴（愛知・小清水翔6年）=74
- 【2位】前田鈴菜（大阪・道明寺小6年）=75
- 【3位】酒井理琴（大阪・西淡路小5年）=75
- 【4位】清水遼奈（岐阜・厚見小5年）=76
- 【5位】伊藤湊子（愛知・国府小5年）=79
- 【6位】上久保実咲（京都・木幡小6年）=79
- 【7位】村田歩香（大阪・糸東小6年）=80
- 【8位】秋田光梨（大阪・伊加賀小6年）=80
- 【9位】江河 怜（大阪・松原東小6年）=80
- 【10位】森田乃愛（大阪・国府小6年）=81
- 【11位】日比野邑香（岐阜・旭小5年）=82

▽9-10歳男子

- 【1位】角江陸翔（大阪・殿山第二小4年）=80
- 【2位】児玉志優（奈良・真弓小4年）=82
- 【3位】黒田匠翔（兵庫・八条小4年）=82
- 【4位】沖中秀真（兵庫・的形小4年）=82
- 【5位】北野貴斗（大阪・福泉中央小4年）=84
- 【6位】高坂信一郎（静岡・和地小4年）=85
- 【7位】森山遼一（兵庫・加古川小3年）=88
- 【8位】高木暢仁（石川・緑小3年）=88
- 【9位】大西翔駟（大阪・玉島小4年）=89

▽同女子

- 【1位】丸山夏蓮（愛知・西浦小3年）=80
- 【2位】松本來海（和歌山・田殿小4年）=84
- 【3位】小暮沙奈（千葉・高洲北小3年）=84
- 【4位】西村 雛（滋賀・大垣東小3年）=86
- 【5位】筑紫ひなの（滋賀・五個荘小4年）=87
- 【6位】福田未来（兵庫・天満南小2年）=87
- 【7位】辻本莉音（大阪・聖賢小4年）=89
- 【8位】中小路綾乃（京都・南つつしが丘小4年）=89

▽7-8歳男子

- 【1位】石口寛樹（奈良・大正小2年）=71
- 【2位】橋本英知（三重・南が丘小2年）=74
- 【3位】前田哲宏（兵庫・関西国際学園初等部1年）=84

▽同女子

- 【1位】重原純奈（千葉・幸小1年）=78
 - 【2位】飯田柚月（千葉・金杉台小1年）=80
 - 【3位】赤穂未来（兵庫・舞多間小1年）=88
 - 【4位】児玉 桃（滋賀・日栄小2年）=94
 - 【5位】野口笑里（岐阜・金竜小2年）=95
- （注）同スコアの順位は18番からのカウントバックによる

◇15-18歳の部男子◇3月11日 ◇三重・亀山GC西C（6717ヤード、パー72）

牛塚海斗（香川・香川西高2年）が湯原光（愛知・西成東部中2年）と2オーバー74で並んだが、カウントバックで18番をパーに収めた牛塚が、ボギーだった湯原を振り切ってトップで予選を通過した。「今日は攻めるところは攻め、守るところは守るゴルフができたと思います」と牛塚。インスタートの10番でいきなり1.5メートルを入れるバーディーでスタート。3オーバーで折り返したがアウトでは強風でスコアメークに苦しむ選手が多い中で1アンダーをマークした。5番パー5では「風が吹いていたのでフルショットだと怖いと思って」と2打目でピンまで50ヤードに刻み、2メートルにつけてバーディーを奪うなど、風を意識した攻め方が功を奏した。270～280ヤードを飛ばすドライバーが得意。「西日本決勝大会（3月31日～4月1日、兵庫・大宝塚GC）では優勝して海外に行きたい。正確さをもっと磨く」と意欲を見せていた。

◇15-18歳の部女子◇3月11日 ◇三重・亀山GC西C（6152ヤード、パー72）

秋田藍（大阪・蹉跎中3年）が序盤のトリプルボギーを跳ね返して6オーバー78で1位となり、西日本決勝大会（3月31日～4月1日、兵庫・大宝塚GC）に進んだ。3番でアプローチが傾斜で戻ってきてしまうなどトリプルボギーにした。「でもそこからショットが良くなってきた」と、逆に落ち着いた。9番で5メートルを入れるバーディーを奪い、「あれが効いたと思う」という16番では1.5メートルにつけてバーディーなど、リズムを取り戻した。「練習ラウンドではOBもあったけど、きょうはなかったの、スコアとしては結構よかった」と振り返った。この予選に3回目の挑戦で初めて決勝大会に進んだ。ドライバー飛距離が220～230ヤードとあって「距離の長いコースは好きじゃないけど、今回は小学生の頃の東コースと違ってそれほど長く感じなかった」という。西日本決勝大会に向けては「アプローチとパターの練習を多くやっていきたい」と話していた。

◇13-14歳の部女子◇3月11日 ◇三重・亀山GC西C（6152ヤード、パー72）

杉浦愛梨（愛知・高浜中2年）が2位に6打差の大差をつける2オーバー74で回り、2度目の世界ジュニア出場に1歩前進した。「一昨年の世界ジュニア（11-12歳の部）で10位だったので、もう1度行ってリベンジしたい」というのが目標。この日前半、7番からボギー、ボギー、ダブルボギーにして40をたたき「後半は何とかパープレーで回ろう。思い切っていこう」と思ったという。14番で1メートル、16、17番ではともに2メートルを入れる連続バーディーなど、目標を上回る34をマークした。一昨年の世界ジュニアから2年弱で「飛距離が200ヤード行かなかったのが、今は230ヤードぐらい、すごく伸びました」という。西日本決勝大会（3月31日～4月1日、兵庫・大宝塚GC）への課題はアプローチ。「パーオン率を上げられるように練習したい」と、世界ジュニア代表入りを目指す。